

議会だより



新年のご挨拶

山ノ内町議会議長 湯本 晴彦



新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、希望に満ちた穏やかな新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。本年は新春早々、フランス、サン・ジェルヴェ・レ・パン市と友好交流提携をし、新たな政策から始まる一年となり、積極的な町行政の姿勢が示されるスタートとなりました。

わが山ノ内町も観光ではインバウンド客の増加により、活気を取り戻してきており、また農業では、シャインマスカットやりんごなどブランド力が効果を発揮しております。コロナ禍を経てようやく経済も好転を実感でき、今年一年の隆盛をひしひしと感じております。

町も昨年は大幅な組織改革をおこない、観光振興や子育て環境を充実する組織体制に変えてきました。また、ゼロカーボンシテイ宣言をし、環境問題にも積極的に政策をすすめていった一年となりました。そのような中で、町議会としても、町の政策に対してすべてのことに同意するわけではなく、補正予算に對しても毎議会、審査委員会を開いて細かく審査をし、時には修正案を出すということもしてまいりました。

今年には町政施行70周年という節目の年です。山ノ内町という名前になって70年、一つの町として町全体が力を合わせられるよう、議会としても尽力してまいります。

町民の皆様にとって、令和7年が、健康で幸多き年となることをお祈り申し上げます。

第141号
令和7年1月27日 (2025)
発行 山ノ内町議会
責任者 議長 湯本 晴彦
編集 広報常任委員会

〒381-0498 長野県下高井郡
山ノ内町大字平穏3352-1
☎0269-33-1101
E-mail
gikai@town.yamanouchi.lg.jp

議会ホームページは
こちらから



フェイスブックは
こちらから



もくじ

新年のご挨拶	26
令和6年第5回定例会関連記事	26
一般質問	28
陳情・議会全員協議会	37
管外視察研修	38
議会報告会のお知らせ・議員の賛否	40
みんなのひろば・編集後記	41

令和6年第5回 定例会

観光局事業負担金を巡り 2日間におよぶ議論

第5回議会定例会は、11月29日に招集され、12月17日までの19日間にわたり開催されました。町側からは、報告3件、承認1件、各会計補正予算9件、条例の一部改正3件、協定締結1件が提案され審議の結果、それぞれ原案のとおり可決・同意しました。

令和6年度 一般会計補正予算 (第7号)

12月3日(火)、4日(水) 議決審査委員会が開催され審査が行われました。その中でも特にまちづくりに観光局に対する増額補正の一部、スノーリゾート形成促進事業支援分330万円について議論が交わされました。

審査意見や附帯決議を付すか否か、2日間にわたり審査しました。議会最終日に再度負担金に係る詳細な説明を求めるとし意見決議ともに付さず、原案のとおり可決しました。

《歳入の主なもの》

- 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 953万円
- スポーツ振興くじ助成金 △302万円
- 財政調整基金繰入金 △1億7543万円
- 前年度繰越金 2億516万円

《歳出の主なもの》

- 観光局事業負担金 415万円
- 海外留学支援補助金 △500万円
- 観光楽ちんカーサービス業 78万円

条例の一部改正

産業振興課を分割

経済振興課と農林振興課に

6年4月から産業振興課として新たに運営してききましたが、新規ビジネス起業や店舗開業に対する行政支援体制や施策の整備が経済振興の重要施策となってきました。今後、経済振興部門のさらなる強化をはかるため、同部門を産業振興課から独立させ、未来創造課の一部業務も移管して、体制を一本化するものです。

議会は一部修正の上可決

町側の改正案は、産業振興課の事務分掌「観光に関すること」が削除され「観光局に関すること」に一本化し、経済振興課の事務とする内容でした。改正案を審査した総務産業常任委員会では「観光全てを観光局に任せるとは時期尚早」との意見が多数を占め、「観光に関すること」を経済振興課の事務分掌に残す修正案を本会議に提出しました。本会議では、この修正案を賛成多数で可決しました。

サン・ジェルヴェ・レ・バン市と友好都市協定締結

山ノ内町とフランスのサン・ジェルヴェ・レ・バン市との友好都市協定締結については、今後の両地域の友好と繁栄の促進のため、相互に協力していくことを定めるものとなっております（全会一致で可決）。

湯田中駅前温泉公園条例

楓の湯 入浴料値上げへ

燃料費・電気料金高騰人件費増などにより7年4月から湯田中駅前温泉公園「楓の湯」の入浴料金を町民と町民以外に区分し、値上げするものです（下表参照）。24回券は廃止します。現在、湯田中駅前温泉公園は、町づくり観光局に指定管理委託されています。年間約900万円の赤字が出ていますが、値上げ後は利用者数が変わらないことの想定で約200万円の赤字になる見込みです（賛成多数で可決）。

「楓の湯」入浴料金表

区 分		1回券	11回券
町民	一般 (中学生以上)	新	400円
		旧	300円
	小学生	新	200円
		旧	150円
町民以外 (新設)	一般(中学生以上)	500円	5000円
	小学生	300円	3000円



リニューアルした楓の湯

一般会計補正予算（第7号）

賛成討論

小林 仁

観光局事業負担金に対し審査委員会では侃侃諤諤の議論が交わされた。私はこの町の未来に対する積極投資と捉え、おおいに期待したい。前例や慣例にとられタイムリングを逸することなく、20年の遅れを大急ぎで取り戻していきたい。

賛成討論

渡辺 正男

今後は誤解や憶測で動きが鈍らぬよう丁寧な説明を求め、「たとえ明日世界が滅びようとも僕はりんこの木を植える」。子どもや孫たちが誇りを持って生活している姿を想像し、常に先を見つめ平澤町政と対峙していく。

反対討論

山本 光俊

町内全索道会社による観光庁の補助事業に参画するための事業計画策定費用330万円が観光局事業主体の負担金として補

正予算に盛り込まれた。観光局へ負担する明確な規定などがなく見切り発車で事業を行う現状は正常な運営とは言えない。誰もが事業参画できる規定など策定し、公平性、平等性が担保され、町が費用負担し観光局が取り扱える環境でない限り公費を振り出すべきではない。

湯田中駅前温泉公園設置条例一部改正

反対討論

渡辺 正男

町民と町民以外に分ける、その判別方法について疑問があるが、そもそも大幅な値上げ自体に賛成できない。条例の趣旨には「町民や観光客に低廉で良質

なサービスを提供し、地域の活性化と健康増進に資するため」とある。これこそが楓の湯設置目的であり原点。各種優待サービス、特典提供などの利用者増につながる企画の充実にこそ力を入れるべきであり、安易な値上げに頼るべきではない。

ズバリ ここが知りたい

論戦

町長の政治姿勢について、友好都市交流について、外国人観光客の拡大にどう取り組むか、2025年町制施行70周年記念事業、「山ノ内マッチボックス」事業について、行財政運営のあり方と地域活性化起業人について、地域公共交通の充実、役場職員の働き方改革、安定した水道水の供給、有害鳥獣対策の強化、第三の居場所づくり、地域通貨の導入とその可能性、蟻川図書館の利用傾向、衆議院議員選挙の総括と今後の課題は、など

12月5日、6日の2日間にわたり行われ、登壇議員は8人、傍聴者は延べ26人でした。

一般質問とは、住民から重大な期待と関心を持たれる大事な議員活動です。議員がその市町村の行政全般にわたって、執行機関の疑問点をただし、所信の表明を求めるものです。議員主導による政策議論であることから、執行機関も十分な準備が必要となるため事前通告を行います。

質問者1人の質問時間は25分です（答弁を含めて概ね1時間）。

①	 白鳥 金次	<ul style="list-style-type: none"> ・産業振興について ・学校教育について ・友好都市交流について
②	 渡辺 正男	<ul style="list-style-type: none"> ・衆議院議員選挙の総括と今後の課題は ・地域公共交通の充実にどう取り組むか ・役場職員の働き方改革にどう取り組むか
③	 徳竹 栄子	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人観光客の拡大にどう取り組むか ・「山ノ内マッチボックス」事業の推進にどう取り組むか ・2025年、町制施行70周年記念事業にどう取り組むか
④	 高田 佳久	<ul style="list-style-type: none"> ・安心・安全・安定した水道水の供給を ・有害鳥獣対策のさらなる強化を ・ひとが集まる文化施設の構築を
⑤	 小林 仁	<ul style="list-style-type: none"> ・統合小学校の目指す理想と第三の居場所作りについて ・総合型地域スポーツクラブについて ・地域通貨の導入とその可能性
⑥	 畔上 恵子	<ul style="list-style-type: none"> ・不登校支援について ・蟻川図書館の利用傾向について ・使用済紙オムツの取り扱いについて
⑦	 山本 光俊	<ul style="list-style-type: none"> ・行財政運営のあり方について ・地域活性化起業人について
⑧	 湯本るり子	<ul style="list-style-type: none"> ・山ノ内町の観光と農業について ・山ノ内町の小中学校の不登校問題は ・公共交通利用対策の駐車場について ・町長の政治姿勢について

新たな観光戦略に向けてデータ収集は

町長 専門家を引き込み検討する

町長 データは重要だと考えている。これから海外が主に伸びてくると考える中で、2030年までに国も6千万人までインバウンドを増やすと言っている。今のほぼ倍になるということを想定すると、どういふところが倍になるのかとかという将来のもくろみも勘案しなければいけない。その辺はしっかりと観光局を中心に、専門家を引き込みながら、戦略を組んでいきたい。

質問 スノーモンキー、スノーリゾート、グリーンシーズンへの観光戦略は。

町長 スノーモンキーの知名度は、ものすごいものを持っている。直近で地獄谷野猿公苑には、25万人の来場者があり、ほぼコロナ前以上になってきていると報告を受けている。



しろとり きんじ
白鳥 金次

※1 デジタルサイネージ (Digital Signage = 電子看板) : 表示と通信にデジタル技術を活用して平面ディスプレイなどに映像や文字を表示する情報・広告媒体。店舗や駅、公共施設などさまざまな場所で設置されている。

※2 セトロニン : 脳内で分泌される神経伝達物質で「幸せホルモン」と呼ばれている。

精神の安定や安心感、頭の回転を良くする効果があり、心身をリラックスさせる働きがある。

そこで、当町に志賀高原、北志賀高原、温泉街もあることを、しっかりと来町されていらっしゃる方々にも知って



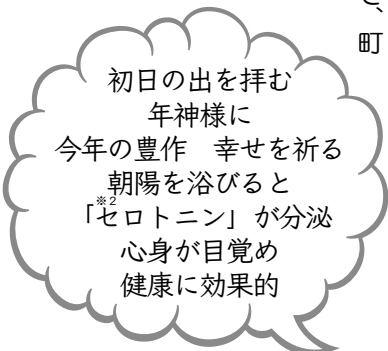
1月17日に供用開始予定の上林総合案内所 (令和7年1月6日撮影)

ただきたいと思っっている。今年度、受け入れ体制整備として、ロマン美術館の前に、観光庁の補助金を活用して待合室をつくる。デジタルサイネージを設置し、パンフレットも置くことで、野猿公苑に来た方が、すぐ目の前に志賀高原があることを知っていただくことが、非常に大きい。志賀高原だけではなく当町の様々な観光地を知っていただく施設となる。

スノーモンキーがごまごま有名なのは、とてもプラスだと思っっている。観光地に人を招くということは、高いハードルがある中で、25万人が来苑されている方々に、それ以外のコンテンツを伝えることで、ほかの観光地よりも一歩リードできる。そのアドバンテージをしっかりと使って、町

新たな農業 振興施策は

町長 農業と観光をセットですすめていきたいと考えている。果樹の品質の良さ、おいしさをしっかりと伝え、お客様との接点の場所をつくっていくことが必要だと思っっている。そうした意味で、例えば湯田中駅でこれから電車で帰る方が、りんごを買って帰りたいと思っっても、今は、販売施設がないので、しっかりとアプローチできるような体制づくりを、今後強化していきたい。



初日の出を拝む
年神様に
今年の豊作 幸せを祈る
朝陽を浴びると
「セロトニン」が分泌
心身が目覚め
健康に効果的

白鳥金次のつぶやき

衆議院議員選挙・国民審査の投票率は

選挙管理委員会書記長

町内全体では58・01%



わたなべ まさお
渡辺 正男

※1 シチズンシップ：「市民性」「市民権」「公民権」などと訳される。市民としての資質・能力を育成するための教育をシチズンシップ教育と言う。

※2 衆議院議員選挙・国民審査のための投票事務ノート：一般財団法人地方財務協会が発行する書籍（選挙管理研究会編）。

※3 選挙時報：全選連（全国市区選挙管理委員会連合会）が発行する月刊誌。

仏語翻訳アプリの優秀さにビックリ!!
今回出番はなかったが、今後は役に立ちそう

渡辺正男のつぶやき

選挙管理委員会書記長 期

質問 10代の投票率が前回

よりも2・3%下がっているのは残念。将来、有権者

者教育にはどう取り組んでいるか。

日前投票率は24・81%。年代別では、10代が42・70%

、20代が38・30%、30代が47・20%、40代が57・80%

、50代が63・50%、60代が70・20%、70代が68・60%

%、80歳以上では44・80%。

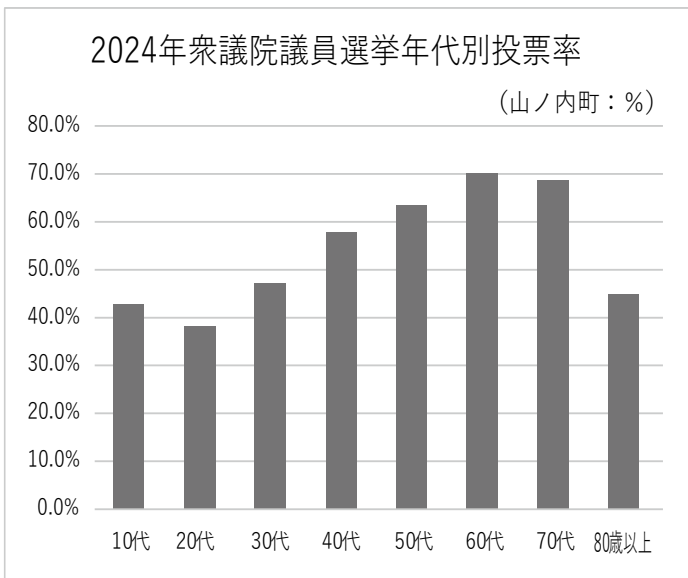
東部で57・20%、南部59%、西部57・10%、北部59・90%。

全体では58・01%。

質問 県内77市町村中で投票率の順位は。

選挙管理委員会書記長 77市町村中58番目、58町村中では53番目。

主権者教育の取り組みは



教育長 中学校では、シチズンシップを育む観点から、夢見るまちづくり討論会を大事にしている。小学校では、租税教室の導入、修学旅行での国会見学、地域の皆さんとESDと一緒に学ぶ機会も積極的につくってきた。児童会・生徒会の選挙では、町の選挙本番と同じ投票箱や記載台を使い、よりリアルな選挙を体験することに努めている。

投票手順は適正だったか

質問 「衆議院議員総選挙」

国民審査のための投票事務ノート」には「選挙区の投票が終わった後、必ず記載台に立ち寄るように、比例代表選挙の投票用紙と国民審査投票用紙は同時に交付し、記載台も同一箇所にし、選挙の投票記載と同時に行うことができるように」となっているが、町はなぜ別々に渡すのか。

選挙管理委員会書記長 選挙時報では、投票の順序として「国民審査の投票の前に投票所を退出することがないよう、例えば比例代表の投票用紙と同時に交付し、同時に記載できるように配慮すること」と書かれている。同時交付の意義は、投票せずに退出することを防ぐための配慮であり、別々でも

投票の秘密が守られていればよいと認識している。

質問 投票の秘密は、誰が誰に投票したか誰にも分からないことが原則であり、投票したかどうかも秘密に含むという解釈もある。裁判官審査の投票用紙だけ渡された記載台に向かい、記載したかどうか分かってしまいううでは、投票の秘密が保持されているとは言えない。裁判官の不信任率が当町は6%だが、全国は10・46%。このことが影響しているとは考えないか。

選挙管理委員会書記長 木島平村、野沢温泉村も町と同様に交付している。管内をみても、単に交付方法と不信任率が相関関係にあるとは言い切れない。

外国人観光客市場の拡大にどう取り組むか

町長 海外プロモーションをさらに強化していく

【質問】 6年度1月から10月までの訪町外国人客数は把握していない。7年度、まち・ひと・しごと創生総合戦略目標値13万人(宿泊者)を目指す。目標を達成するには直近のデータに基づき戦略を立てるべきと考えますが。

町長 データを基に、しっかりとした戦略が必要と考えている。観光の専門家を起用して、データ収集など行っていきたい。

JR飯山駅のPRと利活用の強化を

【質問】 世界の15か国、地域対象のジャパンブランド調査2024年の資料で、再度行きたい国、第1位が日本、そして体験したいものの1位庶民的な和食レストラン、2位農家体験、3位に新幹線である。当町は、

JR長野駅、飯山駅の2つの玄関口を持っている。飯山駅からのアクセスの大切さについての考えは。

町長 飯山駅の活用も大事と思うが同時に、湯田中駅の利活用の促進が基本である。当町へのアクセス確保についていく。



外国人でにぎわう地獄谷野猿公苑

町長 泊まってみたいと思ふような多くのコンテンツのPR戦略が重要と考える。今後観光局が観光事業者の皆さんと一緒に泊まって遊べる町としてPRしていきたいと思っている。

山ノ内マツチボックス事業の課題は

町長 募集事業の7割が、宿泊事業で、求人内容、時期に隔たりがあり、安定的な就業機会がむずかしい。志賀、北志賀エリアは特に

冬期交通手段が不安定のため求職者の登録が少ない。

【質問】 当町の県所得年収入ランキングは77市町村で下から6番目の72位、年収の低い町である。所得増加、人手不足確保をどう考えるか。

町長 「おてつたび」や、技能実習生、特定技能の二つもあると思う。特定地

域づくり協同組合設立運用を視野にいれて、人材、人手不足の解消のサポートをしていきたい。

町制70周年記念等の支援体制は

町長 団体、企業等が自ら企画・実施する場合は、イベント助成金の交付、また例年行われているイベントなどは記念の冠事業とする場合や、共催、後援には備品貸出、広報誌記載、PRの協力など考えている。

【質問】 実例で、宇宙飛行士毛利衛氏を招聘、「銀河鉄道プロジェクト事業」を企画する団体へ協力と支援を。

町長 皆さんの思いを町民に伝え支援協力を求める努力をしていただけるのであれば、支援したい。



とくたけ えい こ
徳竹 栄子

※1 おてつたび：お手伝いをしながら知らない地域を旅し、気が付いたら自分にとって特別な地域になっているそんなサービスのこと。
※2 特定地域づくり協同組合：人口急減地域において、中小企業等協同組合法に基づく事業協同組合が、組合運営費について財政支援を受けられるようにする制度。都道府県知事が一定の要件を満たすものとして設定。

満天の夜空に輝やく星たち、月が光を照らす、雪化粧の竜王山、静かな深夜、心が休まる

徳竹栄子のつぶやき

安心・安全・安定した水道水の供給を

町長 令和7年度に経営戦略の更新を予定



たかだ よしひさ
高田 佳久

※1 PFAS（ピーファス）：自然界でほとんど分解されず、人体や生物の体内に蓄積しやすい有機フッ素化合物の総称で、近年、環境汚染や人体にも悪影響を与えるという研究結果が報告されている。

※2 アセットマネジメント：持続可能な水道事業を実現するため、中長期的な視点に立ち、水道施設全体にわたって効率的・効果的に水道施設を管理運営すること。もしくは、将来の更新需要の規模とピークを把握でき、更新時期の最適化により水道施設への投資の平準化をはかれること。

今年は巳年「蛇は一寸にして人を呑む」皆さんにとって小さな一歩が大きな飛躍につながりますよう、ご祈念申し上げます

高田佳久のつぶやき

質問 PFASへの対策は、

町長 5から6年度にかけて、水源の原水を調査したところ、検出されなかった。今後、国の動向を踏まえながら、必要に応じ検査を行う予定。

質問 水道事業経営戦略は計画期間（10年）の中間年となるが、確認・検証は、

町長 中間年での検証は、行っていない。下水道事業に合わせて更新を予定。

質問 水道料金の改定は、平成29年度以降8年間改定されていないが、経営戦略のアセットマネジメントによる財政シミュレーションでは、料金改定を前提とし

て策定されているため、料金改定をどう考えるか。

建設水道課長 審議会を開催し、料金改定を検討していきたい。

質問 水道事業のDXの観点からも、衛星画像を使った漏水調査の導入を広域自治体の連携事業として検討してみたい。

建設水道課長 検討材料として考えている。

町長 温泉が多い当地で、効果的に使用できるかなど、漏水対策としての費用対効果を含めて、ベストな形を模索したい。

有害鳥獣対策のさらなる強化を

町長 4年度策定の町鳥獣被害防止計画に基づき、被

害防止や軽減および捕獲に努めている。

質問 緩衝帯整備などの生息環境管理と柵など囲って守る防除の2つは絶対条件と言われている。簡易電柵のほかに、必要かつ効果的な場所に恒久柵設置を提案するが。

町長 担当課から恒久柵の有効度合いを聞いていますが、予算の関係および農業振興の面で引き続き担当課と検討したい。

人が集まる文化施設の構築を

町長 美術館・図書館・文化センターなどは、できる限り長く、有効に活用するため、利用者拡大の施策や

施設の長寿命化工事を実施し、利用者が安心かつ有意義に利用できるように事業をすすめている。

質問 蟻川図書館の協議会開催状況は。

生涯学習課長 しばらく開催はされていない。

質問 図書館は親子で楽しむスペースがないため、建物北側にこどもエリアや多目的スペースの増築を提案するが、協議会での検討についてはどうか。

教養課長 多額の寄附をいただいている蟻川家の意向を尊重しつつ、協議会の方々の意見も伺いながら、住民の新たなニーズの把握に向けた方策を研究・検討したい。



PFASも除去できるRO（逆浸透膜）が設置されている東部浄水場の視察風景

地域通貨導入とその可能性は

町長 どのような目的や使い方があるか引き続き調査・研究していく

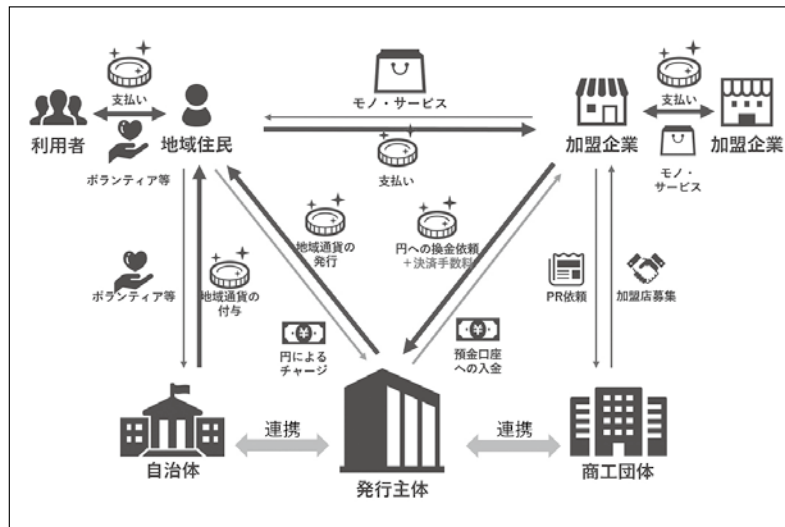


こばやし ひとし
小林 仁

町長 地域通貨は、法定通貨と同等の価値または全く違う価値を付与して発行される地域のみで使える通貨と認識している。人口減少下でも豊かな活力ある経済社会を構築するために、経済的な循環や地域内所得を高め、地域との関わりを深めたコミュニティの活性化をはかることが重要と考える。これらに対する有効的な施策としてデジタル地域通貨に注目が集まっていることは承知している。引き続き調査、研究していく。

統合小学校の目指す理想は

町長 豊かな自然の中で、のびのびと学習できる環境や、他の自治体ではできない町の特色を活かした、町ならではの教育が受けられる学校が統合小学校の目指す



基本的な地域通貨のイメージ図

す姿であり、理想だと考える。場所の議論だけでなく、教育の内容や町全体をフィールドとした地域と連携した学校づくりを目指すよう、教育委員会にお願いしてい

教育長 魅力ある教育としてESD、グローバル教育、スポーツ、芸術、人権教育の4つの学びを柱に義務教育の9年間を切れ目なく、

子ども一人ひとりのペースに合わせて充実した育ちと学びの環境づくりを丁寧にすすめることが、魅力ある統合小学校につながると思います。

感を解消しつつ、安心感や意欲のエネルギーを高めていくことができる。

質問 春からスタートする教育支援センターの位置付けは。

教育長 教育委員会が直接運営する形でスタートするので、一般的に公的なフリースクールというような言われ方もする。その一つと捉えていただいて結構。

適正規模適正配置審議会へも9年間の継続的な学びが可能となる義務教育学校の設置を教育委員会より提案、審議をすすめていただいたい。

第三の居場所の役割とは

教育長 不登校児童・生徒等にとって家庭や学校以外でも安心して過ごし、学べる場として非常に重要な役割を果たすと考える。ありのままの自分でいられる場所を提供することで、心が安定し、寄り添ってくれる大人との出会いにより孤独

質問 方向性は。

教育長 学校の所管としており、学校を否定するようなどとは決していない。学校に戻りたい気持ちになった時にはスムーズに戻る準備を一緒にし、自分で選択をしたい場合には学校と連携しながらその素晴らしい学びの環境づくりを応援していく。



小林 仁のつぶやき

子どもの「第三の居場所」に向けた進捗状況は

教育長 町教育支援センター設立に向け準備をすすめている



あぜがみ けいこ
畔上 恵子

※1 ICT:「情報通信技術」や「情報伝送技術」の総称
※2 メタバース:インターネットを利用して構築された仮想空間やサービスを指す。現実世界とは異なるもう一つの世界と促えることができる。

質問 現在の進捗状況は。

教育長 病気以外の理由により30日以上欠席となっている児童・生徒は小・中学校合わせて二十数人いる。

家庭・学校以外でも安心して過ごし、様々な体験や学びができることを目的に、「第三の居場所」として教育支援センター設立を来年度に向け準備している。

質問 課題と今後のスケジュールは。

教育長 年度内はプレオープン形式だが、4月には正式に教育支援センターをオープンしたいと考えている。不登校状態、登校しても教室で授業を受けることが難

しい児童・生徒に対して、個別に声をかけながら、子どもたちと一緒に居場所の環境を整え、また、ICT

を活用したメタバースといったインターネット上のつながりを丁寧につくっていく。希望する子どもたちを受け入れられる施設

を整備や、専門的知識、経験を持つ人材確保が最優先の課題。
質問 今後の展望は。

教育長 家庭・学校・教育委員会との連携を密に深めつつ長期的な視点を持つて、子どもを真ん中に個別に寄り添うことのできる支援の充実を丁寧にはかかっていく。

蟻川図書館の利用傾向は

質問 新型コロナウイルス

感染症の第5類移行後の利用度は。

生涯学習課長 利用者は減少している。原因として、コロナ禍に比較的影響リスクの少ない図書館を利用していた人が増え図書館の利用が少なくなった。

質問 キッズルーム設置の考えは。

教育長 利用者拡大のための施策の必要性を感じているが、静かに読書を楽しんだり、勉強や調査をしたり利用する人が多いのも事実。図書館建設や改修費用など多額の寄附をいただいている蟻川家の意向を尊重し、条例設置している蟻川図書館協議会委員の意見も伺いながら、幅広い視点から方

戦後80年の2025年
世界中の人が笑顔で
過ごせる年にしたい!

畔上恵子のつぶやき

策を研究していく。
質問 図書館利用者増加への工夫は。

生涯学習課長 現在は特別なものはないが運営委員会、協議会等に伝えていく。

質問 災害時を想定しての対策は。

教育長 図書館そのものが避難所になることは想定していなかった。だが、図書館を利用中に災害に遭うといった場合の安全確保という点は極めて大事だと思う。現場とも協議しながら、利用者の安全をどう守るか、しっかり考えていく。



4月開所予定の教育支援センター

就任当初と現在で行財政運営への理念の変化は

町長 変化はない 行財政運営に対して理解は深まった

こども海外留学支援補助金の取り扱い

【質問】 要綱策定以前に町長から海外留学をすすめるられ町が500万円を出すすと約束しているから、制度利用により留学をすることが決まっているという保護者がいると聞いたがこれが事実なら大問題だが。

【教育長】 私自身は聞いていない。調査したいと思う。

高校生通学定期券購入補助金の拡充を

【質問】 ひとりに手厚く補助するより多くの人に補助をした方がよいという意見が多数ある。さらに昨今の物価高騰は家庭に負担となっている。自宅から通学している大学生なども対象にすることを含め補助を手厚くする必要があると思うが。

【教育長】 経済的負担を感じ

る家庭が増えている認識はある。経済的支援など検討する必要がある。

町長海外トップセールスよりインバウンドセールスコール支援事業補助金の拡充を

【質問】 タイへの町長トップセールスが行われたが参加者から評判がすこぶる悪い町長は参加者と同行しないどころか飛び立つ空港も別しかもビジネスクラスで渡航、現地でも単独行動ばかりで何をしているのかわからない。さらに驚くべきは町長個人のパートナーなる人物を同行させ参加者に紹介していた。参加者も公私混同ではないかと戸惑ったそう。公金を使用し、公務の最中に私的な関係の人物として、公私混同も甚だしい。今回の町長トップセールスには疑義がある。看



やまもと みつとし
山本 光俊

※1 歳入欠陥：国や地方公共団体の会計において、実際の歳入が当初の予算で見積もっていた額を下回ること。
※2 特別地方交付税：すべての地方自治体が一定の水準を維持しよう財源を保障する見地から、国が一定の合理的な基準によって再配分する固有財源のうち、普通地方交付税で捕捉されない特別の財政需要に対し交付されるもの。



タイ国トップセールスの様子（令和6年11月9日）

過できない行政の問題行動だ。副町長主導で始末顛末の報告をしていただきたい。

【副町長】 疑念を抱くようなことがあってはいけない。その方向で検討したい。

【質問】 住民要望を理解し支援のあり方を考え執行するのが行政だ。これから予算要望・総務課長協議・理事

者協議があるが、判断を間違えないよう強く要望する。**地域活性化起業人の運営は実質的な歳入欠陥**

【質問】 誰が主に人選したか。

【町長】 私のツテもあるし、ほかのツテもあったかもしれない。
【質問】 三分の一しか交付税

措置されていない。全額国の交付税措置を受けられる制度なので、これを利用して契約すると説明があったが間違いはないか。

【副町長】 間違いない。

【質問】 この事業は一般財源で予算措置され、特別地方交付税で全額交付が前提と説明があった。町から報告がなければ全額措置されたと判断してしまう。これは実質的に歳入欠陥であり、議会に報告していない。事実の隠蔽になるのでは。

【町長】 特段隠していたわけではない。

【質問】 報告しない理由は。

【町長】 特に理由はない。そう言われれば議会への報告はした方が良くかと思うので今後は報告する。

来年度実施計画では町長トップセールス費用3年間で1380万円
民間へのセールス補助金は同960万円
当初予算はどう出てくるか

山本光俊のつぶやき

観光と農業のまちづくり 観光局と連携した取り組みは

町長 道の駅をしつかり運営 遊休農地活用や商品開発など手掛けたい



ゆもと りこ
湯本るり子

※DMO：地域の多様な関係者も巻き込みつつ科学的アプローチをとり入れた観光地域づくりを行う舵取り役となる法人。

質問 観光局関係の効率化と適切な運営体制の現状は。

ヨンとしてはDMOへの登録を目指したい。

その一部を長野電鉄を利用している。利用状況は記したく方を対象として開録として残していない。

町長 昨年までは観光連盟と観光商工課のダブルで行っていた業務は整理、一本化できつつある。新年度からは運営体制を修正し、民間の知恵をより多く取り入れて、観光経験者主導によるスピード感ある組織を目指していきたい。

質問 観光局についての具体的な説明がないという声を多く聞くが。

町長 4月から5月、ほぼすべての観光団体に、個別には話している。これから説明会を企画している。

質問 観光連盟解散後の体制はどうするののか。

町長 観光関連は観光局に集中させることで、より効率が良いネットワークの軽い観光戦略が実行に移せると思う。稼げる事業を目指していきたい。今後のビジョン

産業振興課長 今の予定では、12月20日に行いたい。

公共交通利用者対策の駐車場は

質問 設置された経緯と利用状況は。

町長 八十二銀行山ノ内支店上側の駐車場は、職員駐車場として利用しており、



八十二銀行上の駐車場（雨降り後の状況）

質問 管理はどのように。

町長 草刈りや碎石による整地を行っている。

質問 雨降りの日には、前向きに停めると水溜まりがあつて、とても使いにくい。舗装して区画の白線を引くなど改善できないか。

質問 衆議院議員選挙の結果についてどう考えるか。

未来創造課長 公共交通の促進のための駐車場としては他に長電タクシーの裏にも用意をしてある。定期的には草刈り、碎石の補充をしている。

町長 自民党が議席を減らし、過半数でなくなったことについては少々驚いた。山ノ内町の選挙区の国会議員が2人から1人になったことについても残念だと思つている。しかし、国会のパワーバランスが変わったことで、今後国会では議論が必要な事案に関してしっかり議論がされてからすすむようになると思うので、日本にとつては良い結果になったのではないかと思つ

質問 ここは借地か。

町長 借地です。

質問 町有地なら簡易舗装の改善はできないか。

総務課長 駐車場自体は行政財産ということで管財係の担当。駐車場機能を十分果たしているという判断で、舗装する予定はない。

2025年は被爆80年でもある。今年こそは戦争の無い年になりますように

湯本るり子のつぶやき

皆さんからの陳情

受理番号	件名	陳情者	採決結果
陳情第11号	福祉医療給付制度を国の制度として確立することと、医療費助成に係る国民健康保険の国庫負担軽減額調整措置をすべて廃止することを求める陳情	福祉医療給付制度の改善をすすめる会 会長 和田 浩	採択 (全会一致) 意見書送付

議会全員協議会

第15回(10月3日)

- (1)執行機関側からの提出案件 なし
- (2)議会側からの提出案件
 - ①議員間討議 テーマ：「小学校統合問題について」
 - ②その他

第16回

- (1)執行機関側からの提出案件
 - ①令和6年人事院勧告に係る給与条例の改正等について
 - ②令和7年度組織機構の見直しについて
- (2)議会側からの提出案件
 - ①議会報告会について

第17回(11月29日)

- (1)執行機関側からの提出案件
 - ①総合型地域スポーツクラブの運営状況について
 - ②職員の働き方改革に係るフレックスタイム制の導入について
 - ③志賀高原自然保護センター展示物改修について
 - ④オーバーツーリズム対策に伴う案内所兼待合室の設置状況と運営について
 - ⑤第6次総合計画前期基本計画及び第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況について
 - ⑥第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略 第4回改訂について
 - ⑦実施計画(令和7年度～令和9年度)について
 - ⑧フランス サン・ジェルヴェ・レ・バン市との友好提携について
- (2)議会側からの提出案件

- ①議会報告会について
- ②足立区議会との交流会について
- ③議員間討議の議事録公開について

第18回(12月17日)

- (1)執行機関側からの提出案件
 - ①デジタルノマド官民推進協議会への参画について
 - ②POW JAPAN への賛同について
 - ③健康・美・長寿推進協議会への参画について
 - ④国立公園立地自治体協議会への参画について
 - ⑤山ノ内町 MaaS 検討会の現状について
 - ⑥学校統合について
 - ⑦職員による人身事故に係る対応状況について
 - ⑧令和6年人事院勧告に係る給与条件の改正等について
 - ⑨自律運行型ドローン利活用について
 - ⑩山本光俊議員の一般質問の答弁にあった地域活性化起業者について、これまでの選定経過、特別交付税要件と実績、業者一覧など制度の説明について
 - ⑪予算決算審査委員会での委員長報告にあって商工費の「まちづくり観光局」への負担金の詳細について(内容詳細、背景、今後の計画・予定など)
- (2)議会側からの提出案件
 - ①山ノ内・足立友好自治体議員連絡協議会
 - ②議会報告会について
 - ③議会ハラスメント防止策(仮)申し合わせ事項(案)について
 - ④議長諮問に対する答申について
 - ⑤その他

議長諮問に対し答申書を提出

令和5年6月27日の議会全員協議会にて、湯本議長より山本議会運営委員長に議会活性化の諮問があり、令和6年第5回定例会最終日に答申書を提出しました。

【議事録より抜粋】

①議会としてのあるべき姿について

①町民に対しての信頼回復をもたらし、ためには何をすべきか

○議員一人ひとりが町民の信任を受けた公人としての自覚を持ち、各々がどうあるべきか日々研究し、高い識見を養うようつとめ、必要に応じて研修会などに参加するとともに、議会報告会や議会だより・ホームページ等で、その取り組みを発信する。

また、町民との対話を増やし、議会の使命と議員の職責を果たすとともに、我われがしっかりと活動する姿を見せる。

②なり手不足解消につなげるために、我われがやらなければならぬことは

○町民の皆さんと連携をはかりながら立候補しやすい環境整備に引き続きつとめる。

③議会としての存在意義と共に、今以上に重きを置くべきか

○町民の皆さんの生活をより良くするために政策提言と行財政のチェックに重点を置く。

④議会のDX化について

①タブレットの導入をすすめる検討

○令和7年度中の導入を目指す。

②議会運営の効率化、事務局の負担軽減につなげるためには

○タブレットを導入しペーパーレス化をはかるなど、抜本的な業務の見直しを行う。



議長諮問に対し答申書を提出

総務産業常任委員会

11月19日(火)、20日(水)と管外視察研修を行いました。今回の視察先として、能登半島地震における災害対応、広域行政事務組合の取組み、空き家対策事業、デマンド交通、有害鳥獣対策をテーマに、石川県、富山県、福井県を選定しました。

能登半島地震災害対応

石川県志賀町



町内の災害状況が一目でわかるデジタルサイネージ

○地震を想定した避難実施の取り組みがなく、自主防災組織が機能しなかった
○防災袋(セット)を持参してきた避難者はいなかった
今後は、住民の避難行動などを検証して、避難計画等の更なる改善をしていくとのこと。当町でも大いに参考となる。

富山県舟橋村

富山県中新川郡内の公共下水道を効率的に整備することを目的として、昭和57年7月、郡内2町1村(立山町、上市町、舟橋村)が協議し舟橋村役場内に一部事務組合を設立。

平成11年4月、高齢者福祉対策の介護保険制度施行により、新たに介護保険事業事務の共同処理を追加したことに伴い、名称を改め現在に至る。

人口減少は当町も含め全国的な問題。解決の一つのキーワードが広域化。官民問わず、様々な分野で検討していく必要性を感じた。

福井県越前町

平成17年、4つの町村が合併し現在に至る。当時25000人の人口が現在では19000人となり、少子高齢化の中で「空

き家」「地域公共交通」が問題化された。

1. 空き家対策事業の取り組み
平成27年より空き家を活用した移住体験施設を整備し、これまで250人の利用があり23人が移住。地域住民との交流をはかれるよう体験プログラムを充実させており、当町でも参考にすると感じた。

2. A-デマンドタクシーの取り組み(チヨイソコえちぜん)
令和4年3月にコミュニティバス9路線のうち5路線の廃止に伴い、4月からデマンドタクシーの運行を開始。運行形態は区域内ドアツードア方式(自宅から停留所)であり電話またはインターネットにて予約。運賃は、高校・一般500円、小中学生・障がい者等400円、免許返納者300円、2人以上の予約で100円引き。



チヨイソコえちぜん

ドアツードア方式は、当町でも導入に向け検討していく必要性を感じた。

福井県あわら市富津地区

有害鳥獣対策取り組み事例
平成28年頃から「とみつ金時」を特産品とする富津地区にイノシシが出没し始め、翌年に被害が一気に拡大。若手生産者による組織が、被害発生直後に迅速に侵入防止柵を設置し獣害対策を実施。柵の状況やイノシシの痕跡を地図に落とし込むことで改善点を明確化。ドローンの活用による見回りの省力化をはかり被害額を大幅に削減(平成28年度:400万円→令和元年度:22万円)させた。

猟友会員の負担軽減策として、ドローン活用の必要性を感じた。



ドローンを使った有害鳥獣対策の説明

学びに活かす

昨年1月1日に発生した能登半島地震の震源地である志賀町を訪れ、担当者から災害対応についての詳細を伺った。反省点としては以下の通り。
○各地区における指定避難所の強化、避難計画の見直し、さらなる住民への啓発の重要性
大津波警報が発令されたことにより、避難所のキャパシティ5000人をはるかに超える10000人の避難者が殺到した。
○正確な情報の把握、住民への正確な情報の発信
志賀原子力発電所では、重大な事故はなかったものの、火災発生などの誤った情報が流れた。住民の不安を煽った。
○常日頃から職員に対する防災意識の徹底や役割分担の把握

社会文教常任委員会

10月29日(火)、30日(水)と管外視察研修を行いました。今回の視察先として、不登校支援、部活動の地域移行、STEAM教育、施設の多目的利用などをテーマに富山県、石川県を選定しました。

先進例に まちづくり

不登校支援

富山県 射水市

平成25年NPO法人として設立された「はあとぴあ21」。この学園はフリースクール「フレンズ」、放課後等デイサービスを3事業所で展開。また高等部では3年間の通信制高校を運営しています。

フリースクールでは、スタッフは細かいことは言わずルールも決めていない。買い物や昼食作り、学習日・ゲームの日など多様な子どもに対応したスケジュールで行っています。

不登校はどの子にも起こり得ることで重要なファクターとして、フリースクールなど、子どもの居場所が「一番安心できる場所かどうか」ということを学びました。

部活動の地域移行

高岡市

運動部活動16種目、文化部活動3種目について地域部活を展開し、休日部活動の地域移行に向けた体制整備を推進しています。

市スポーツ協会と連携し、年間12回以上を目標に活動の場や機会を確保されています。また、地域部活動コーディネーター(教員)が競技団体と学校間で連絡を調整し、地域部活動移行推進委員会の設置もされ課題や成果などを共有しています。

補助支援は、指導者を1種目2人まで、1回3時間(4800円)。年12回とし、越えた分は競技団体で支出する形になっています。

また、地域クラブとなったため、大会参加を見送る場合も発生することがあるとのこと。課題も多い事を感じました。

施設の多目的利用

石川県 金沢市

県立図書館は直接、手に取ることのできる30万冊の本と自分の思いのまま過ごせる500の閲覧席。サイレントルームを除いた図書館全域で会話ができる賑わいあふれる場所です。

閲覧エリア・文化交流エリア・子どもエリアと3つに分かれて



不登校支援の説明



県立図書館内

STEAM教育の取り組み

金沢大学附属中学校

文部科学省の研究開発学校制度(国の基準によらない教育課程の編成・実施を認める制度)を活用して、「新たな学びの場」として創造デザイン科を創設されました。

「創造デザイン科」とは、新たな価値を創造する資質・能力の育成と個別最適な学習の一体的な充実(個別最適化学習・STEAM教育)を柱とし、創造性の教育を目指した指導と型にはめない活動となっています。

特徴的なことは、1学年は、より良い学校を創造し、2学年は学校と地域の関係を創造、3学年は地域にある問題を見出し、創造的な解決を目指す。としているところですが、当町の小・中学校で行っているESD教育と重なる面があると感じました。

おり、子どもエリアでは飲食自由、それ以外の場所ではふたの付いた飲み物による水分補給のみ可能となっていますが、1Fには力Fエも設置されています。また、有料の貸しスペースもあり、他にも研修室・食文化体験スペース等、充実した環境の施設となっています。



STEAM教育に関するパンフレット

※STEAM教育とは…科学、技術、工学、芸術・リベラルアーツ、数学の5つの領域を対象とした理数教育に創造性教育を加えた教育理念。知る(探究)とつくる(創造)のサイクルを生み出す、分野横断的な学びのこと。

期 日	曜 日	時 間	会 場
1月19日	(日)	18時30分から	すがかわふれあいセンター
1月24日	(金)	19時から	和合会館
1月25日	(土)	15時から	ほなみふれあいセンター
1月30日	(木)	19時から	文化センター
2月11日	(土)	17時30分から	よませふれあいセンター

議会報告会を町内5会場で開催します。大勢の皆様のご参加をお待ちしております。

第18回 議会報告会を開催します

公開します 審議議案と議員の賛否 令和6年第5回定例会

上程議案	結果	小田 孝志	畔上 恵子	小林 仁	志鷹 慎吾	塚田 一男	湯本 るり子	徳竹 栄子	高田 佳久	渡辺 正男	山本 光俊	小林 克彦	白鳥 金次	湯本 晴彦
上程議案 賛成：○ 反対：● 欠席：欠 全賛…全員賛成で可決・承認・認定・採択・同意 賛多…賛成多数で可決・承認・認定・採択・同意 賛少…賛成少数で否決・不承認・不認定・不採択・不同意														
自動車損壊事故に係る和解及び損害賠償額の決定について（専決第16号）	全賛	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	—
自動車損壊事故に係る和解及び損害賠償額の決定について（専決第19号）	全賛	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	—
建物損壊事故に係る和解及び損害賠償額の決定について	全賛	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	—
令和6年度一般会計補正予算（第5号）	全賛	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	—
令和6年度一般会計補正予算（第6号）	全賛	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	—
令和6年度国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	全賛	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	—
令和6年度介護保険特別会計補正予算（第2号）	全賛	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	—
令和6年度公共下水道事業会計補正予算（第1号）	全賛	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	—
令和6年度農業集落排水事業会計補正予算（第1号）	全賛	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	—
令和6年度水道事業会計補正予算（第2号）	全賛	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	—
令和6年度一般会計補正予算（第7号）	賛多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	—
令和6年度国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
令和6年度町営住宅長寿命化型改善事業改善箇所買取契約の締結について	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
町組織条例の一部を改正する条例の制定について（修正案）	賛多	○	○	●	○	○	○	○	●	○	○	○	○	—
町組織条例の一部を改正する条例の制定について（修正案を除く原案）	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
湯田中駅前温泉公園設置条例の一部を改正する条例の制定について	賛多	○	○	●	○	○	●	○	○	●	○	○	○	—
令和6年度一般会計補正予算（第8号）	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
フランス サン・ジェルヴェ・レ・バン市との友好都市の締結について	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
福祉医療給付制度を国の制度として確立することと、医療費助成に係る国民健康保険の国庫負担減額調整措置をすべて廃止することを求める陳情	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
福祉医療給付制度を国の制度として確立することと、医療費助成に係る国民健康保険の国庫負担減額調整措置をすべて廃止することを求める意見書の提出について	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

轆轤細工に魅せられマ

木のぬくもりと木目の美しさ

湯田中駅のわき道を南へ数メートル下ると1軒の轆轤細工のお店があります。

「吉羽ろくろや」です。以前、自分が木目の美しさに惹かれて湯呑みセットを購入したことがあるお店です。今は、1軒だけに、轆轤の魅力について、四代目店主の吉羽英一氏にお話を伺いました。

《轆轤細工の歴史》

一千有余年前、貞観年間(平安時代)にさかのぼります。人皇五十五代文徳天皇第一の皇子惟喬親王(八四四年〜八九七年)は、皇位継承の機会を失い都を追われ近江の小椋谷(現滋賀県東近江市永源寺町)に入山し、民人達の貧しい生活に心を痛め大木の朽ちるのを見て、資材の豊富な処から轆轤を使って盆・椀などを作る技術を仙人達はその技に精励し次第に挽物細工の隆盛を致す元となりました。

「吉羽ろくろや」は、明治時代、初代新吉氏が創業。二代目一郎氏、三代目薫氏、四代目英一氏へと、轆轤細工を継承し今日に受け継がれてい



作業中の吉羽氏

ます。質問に答えていただきました

Q 轆轤細工を始めたのはいつ?

A 家族で作業をしていたので小学校へ上がる時には自分ができることをしていた。本格的に始めたのは高校卒業するころから。

Q どこに魅力を感じたの?

A 家の仕事だと思っていたのと木のぬくもり・木目の美しさかな。ものづくりが自分好き。

Q お客様はどんな人が多いの?

A 外国人が圧倒的に多い。ケース内の作品を見るように

眺めている。

Q 今後の目標や課題は。

A 後継者はいないが自分が元気なうちは作り続けたいと思う。今はそれしか考えていない。

取材を終えて

轆轤細工は、50年100年と使われ残る作品だと思えます。

作り手の思いと、次の世代へ受けつないでいく何らかの方途を模索していくことが重要ではないかと感じた取材でした。

ご協力いただきありがとうございました。

(記 畔上恵子)

編集後記

迎春、令和7年がスタートしました。今年の干支は「乙巳」です。困難があっても紆余曲折しながらすすむことを意味する「乙」と脱皮を繰り返すことから変化や成長、再生を象徴する「巳」。この組み合わせから「乙巳」は、変化しながら困難を乗り越え成長や発展を続けていく年であると言われています。

当町は今、課題として小学校統合、不変な公共交通観光局の組織運営など困難を乗り越え良い方向に進展する飛躍の年になっていくことを信じています。

元日に、本年も議員として不動の星「ポラリス」のように揺るぎない、責任と信念を持ち続けていくことを心に刻みました。

令和7年、そして町政70周年とラッキーセブン、なんとという偶然でしょう。町民の皆様が幸運に恵まれ健やかに過ごされる年になるようご祈念申し上げます。

(徳竹 栄子)